

# 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	2672000136
法人名	有限会社ジェイズ
事業所名	有限会社ジェイズ グループホーム芳寿館
所在地	京都府与謝郡与謝町字四辻36-2 (電話) 0772-44-1123

評価機関名	特定非営利活動法人 市民生活総合サポートセンター		
所在地	〒530-0041 大阪市北区天神橋二丁目北1番21号八千代ビル東館9階		
訪問調査日	平成19年11月15日	評価確定日	平成20年1月15日

## 【情報提供票より】(平成19年10月15日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 14 年 11 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	11 人	常勤 9 人, 非常勤 0 人, 常勤換算 8.75 人	

### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋造り
	2階建ての2階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	52,500 円	その他の経費(月額)	19,000 円	
敷金	有(100,000円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(100,000円) 無	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	500 円
	夕食	700 円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

### (4) 利用者の概要(月 日現在)

利用者人数	9 名	男性	4 名	女性	5 名
要介護1	0 名	要介護2	2 名		
要介護3	3 名	要介護4	1 名		
要介護5		要支援2	1 名		
年齢	平均 89 歳	最低	82 歳	最高	99 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	いわさく診療所
---------	---------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

元料亭だった建物を改修して建てられたホームで和風の概観でまわりに馴染んでおり、1階はデイサービスとなっています。ホームの前には法人の診療所があり、24時間対応可能で往診、医師のカンファレンス参加など連携が取れており、職員にも看護師が配置されているなど安心できる体制です。ホーム内は居心地良く過ごせる空間づくりがされており、広い和室には囲炉裏があり、季節の花や掛軸などが掛けられ、昔なつかしい雰囲気となっています。また、本格的な野菜作りや日向ぼっこが出来るベランダがあり、入居者の楽しみ事の一つとなっています。理念にも掲げられているとおり、職員は尊厳を大切に、丁寧な言葉遣い、対応がなされています。また、日々の努力により地域との関わりを多く持ち、理解を深めながら溶け込まれています。

重点項目 ①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価で改善項目に挙がっていた、家族の意見についてはアンケートを実施し取り組まれています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
重点項目 ②	今回の自己評価については職員全員に自己評価票を配付し、管理者がまとめて作成されています。職員が項目の意義を理解し、日々のケアについて振り返る良い機会とされています。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
重点項目 ③	家族、近隣住民、役場職員、社会福祉協議会の方が参加する運営推進会議ではホームの活動報告、参加者の方の意見、要望を聞いたり、ボランティアの紹介をしてもらったりケアに反映しています。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
重点項目 ④	家族がホームに来られた際にコミュニケーションを取るようになっています。意見箱の設置や、アンケートの実施、運営推進会議への参加を通して意見聞く機会を設けています。また、外部も含め、苦情対応窓口について、書類に記載し、説明しています。要望等についてはその都度話し合い、対応されています。
	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目 ④	隣組に加入しており、地藏盆やホーム近くにある神社の掃除、地域の祭りに出来るだけ参加しており、ホームで夏祭りを開催して、地域の方々も来られています。また、小学校や幼稚園、保育所などとも歌を歌いに来てもらったり、運動会を観に行ったり様々な交流を図っています。

## 2. 評価結果（詳細）

（  部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「人としての尊厳を大切に」をグループホーム独自の理念として掲げられている。	○	地域の中での暮らしやその人らしく生活していくことについて支援されています。今後地域の中で入居者がどのように暮らしていけるかについて職員で話し合い、理念に盛り込まれる事が期待される。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念に基づいたケアを大切にしており、常に職員は意識しながら日々取り組んでいる。ホーム内、職員休憩室にも掲示している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	隣組に加入しており、地藏盆やホーム近くにある神社の掃除、地域の祭りに出来るだけ参加しており、ホームで夏祭りを開催し、地域の方々も来られている。また、小学校や幼稚園、保育所なども歌を歌いに来てもらったり、運動会を観に行ったり様々な交流を図っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	今回の自己評価については職員全員に自己評価票を配付し、管理者がまとめて作成されている。職員が項目の意義を理解し、日々のケアについて振り返る良い機会としている。また、前回の評価で改善項目に挙がっていた家族の意見についてはアンケートを実施し取り組まれている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	家族、近隣住民、役場職員、社会福祉協議会の方が参加する運営推進会議ではホームの活動報告、参加者の方の意見、要望を聞いた内容を記録し、職員会議などで内容を報告されケアに反映している。また、ボランティアの紹介をしてもらったりと会議を有効に活用している。		

グループホーム芳寿館

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>町主催の福祉相談会へ参加しており、担当者の方とは相談できる関係がつけられている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>入居者の暮らしぶりや健康状態などは家族がホームに来られた際や月1回の個別のお手紙にて報告している。また、写真や行事予定、職員の紹介が載っている「芳寿館たより」を2ヶ月に1回発行している。金銭管理は、毎月出納帳を送付している。</p>		
8	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族会を年2回実施している。また、家族がホームに来られた際にコミュニケーションを取るようになっている。さらには、意見箱の設置や、アンケートの実施、運営推進会議への参加を通して意見聞く機会を設けている。外部も含め、苦情対応窓口について、書類に記載し、説明している。要望等についてはその都度話し合い、対応されている。</p>		
9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>馴染みの関係作りに配慮し、変わりなく同じケアが提供出来るように考えている。職員交代の際には、ダメージが少ないように、十分な配慮をしている。</p>		
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>内部研修の年間計画を立てられており、同一法人内のデイサービスなどとも合同で勉強会なども実施している。研修受講は会議の際に伝達研修している。外部研修にも積極的に出席している。</p>	○	<p>職員が他施設の見学や交換研修などをされてはどうか。新たな発見の機会を設け、個々の能力アップだけではなく、グループホーム全体のサービスの向上が期待される。</p>
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会に参加し、ネットワークづくりをしている。過去に職員交換研修なども実施している。今後も取り組みたいと考えている。</p>		

グループホーム芳寿館

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に見学に来てもらい、家族と相談しながら家庭の延長となるように、ご家族の方とも頻りに連絡しながら、情報収集も行い、一人ひとりに合った居室づくりや対応をしている。また、グループホームに入居待ちの方にもホーム便りを配っている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者のひとりひとりの特徴を把握している。職員と一緒に過ごしながらか、地域の風習や季節に合った掛軸選び、野菜作りなど様々な場面で入居者より学び、支え合う関係を築いている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の言動などの記録やコミュニケーションを通して一人ひとりの希望や生活のあり方の把握をしている。困難な場合は家族と相談したり、職員間でその都度話し合って検討している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入居者、家族の思いや意見は日々の関わりの中で把握し、プランに反映している。カンファレンスの際、職員の意見は全入居者について意見を求め、毎回主治医も参加して月1回開催している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的にケアプランは見直されており、常にプランと状態が一致しているかの把握に努め、変化があった場合はすぐに見直している。		

グループホーム芳寿館

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居者、家族の状況に応じて、通院や外出など柔軟に対応している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時に希望を聞いて支援している。医療連携体制で24時間対応可能であり、職員に看護師が配置されている。また、内科、眼科、歯科の往診もある。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時に確認し、ターミナルに入る際は家族の思いを把握しながら、家族、医師、職員と随時話し合い、共有しながらケアされている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	言葉掛けが丁寧であり、理念にも掲げられている通り尊厳を大切に接し、プライバシー確保の徹底に努めている。また、記録等の個人情報については目につかないところで保管している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床時間、入浴時間など一人ひとりのペースを尊重し、希望を把握しながら支援している。		

グループホーム芳寿館

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者と一緒に献立を相談し、買物へ行き、調理や配膳、後片付けを行っている。職員も同じものを食べ、音楽をかけたり、食事が楽しいものとなるように支援している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望を把握し、タイミングや声掛けなどを工夫し、支援している。毎日や夕食後の入浴も可能な体制である。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	日々の生活の中で役割を持って過ごされており、ラジオ体操や歌を歌ったり、生活歴を活かして習字、囲碁、野菜づくり、季節の作品づくりなど楽しみ事、気晴らしが支援されている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	希望にそって散歩や買物に出掛けている。ベランダも広く、畑づくりやベンチでの日光浴も楽しんでいる。また、1階に中庭があり、食事やおやつを食べたりしている。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	1階にあるデイサービスと連携をしながら、日中は鍵を掛けずに自由な暮らしを支援している。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署に来てもらったの訓練や、ホーム独自で夜間想定した訓練を行っている。また、隣組の方にも声掛けをしている。		

グループホーム芳寿館

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立はメインを法人の栄養士に立ててもらっている。食事・水分摂取量は全員記録し、主治医も確認している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入ったところに入居者の作品を作品展として掲示し、広い囲炉裏のある和室には季節の花や掛け軸が掛けられている。台所も広いアイランドキッチンで、車椅子の方も手伝えるようになっている。ちょっとしたスペースにもイスを置いている。全体的に居心地良い空間となっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの物や思い出の品を持ってきてもらい、その方に合った居室づくりを家族と相談しながら工夫している。		